

柘植地域

# まちづくりだより

第289号

発行日

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)

〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

2023(令和五)年二月一日(水)



柘植地域俳句コーナー  
きくきくと  
新雪今日の  
音立つる

辻本 幸子

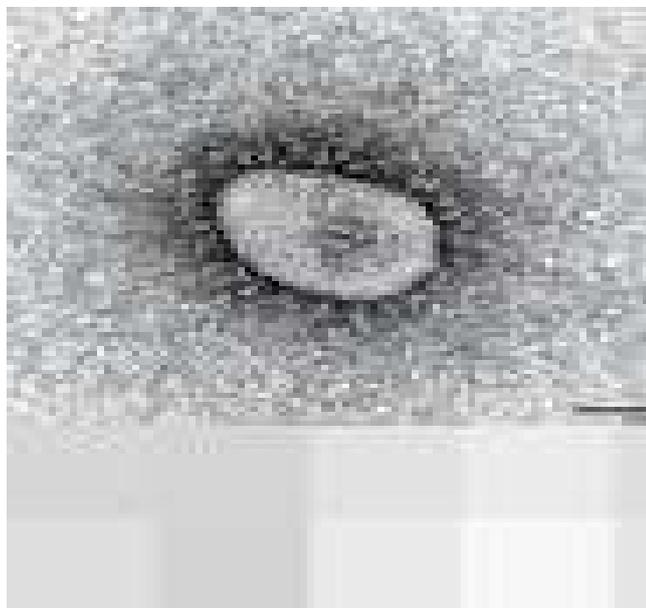
## コロナ再び拡大、第8波到来 新たな変異株XBB 15が発生 インフルエンザと同時感染を懸念

新型コロナウイルスは、年明けから再び拡大。1日の感染者数は全国で8万人前後迄拡大中、国内の累計感染者数は3千2百万人を突破し、国民の4人に1人が感染。死者数は累計7万人に達する勢いで特に持病を持つ高齢者が感染した際の重症リスクが大きい事が懸念されています。

流行が予測される新たな変異株【XBB 15】(エックスビービーワンファイブ)は昨年9月イギリスで拡がり始めたXBB から進化したオミクロン株の変異株。

WHO(世界保健機関)に依ると特徴は此れ迄の変異株の中で最も感染力が高く、免疫逃避力が強い為、ワクチンをすり抜けるケースが発生しています。

免疫系の攻撃をかわす能力が高まっておりより拡散し易く為っていると分析。此の様な変化はウイルスにとって「進化の常道」でウイルスが人体の防衛メカニズムを回避する新たな方法を見つけようとしています。



更に、インフルエンザとコロナウイルスとの「同時感染」を起こした場合、より強く重い症状が出る為、「インフルエンザ予防接種」と「オミクロン対応ワクチン接種」は、重症に陥る事を回避する為にも有効とされています。

人類は有史以来、ウイルスとの闘いの連続と云われて久しいですが、今まさに新たなウイルスとの攻防が繰り返されています。

### オミクロン変異株【XBB 15】



令和四年度第10回「12区連絡協議会」1月13日「金」市民センターホールにて開催柘植まち協「12区連絡協議会」(区長会)も区長改選から22ヶ月経過。任期2年の3月末迄、後2回を残すところと為りました。区長の方々に於かれましては2年間の任期中、種々様々な区の課題懸案事項に取り組みで戴きまして誠に御苦労様で御座居ました。少子高齢化が進行する地方の実情は日本全国何処の自治体でも同様。取り分け少子化対策は喫緊の課題です。

# 歴史遺産巡り 健康ウォーキング

教育文化部会 部会長 松山文雄

教育文化部会と健康福祉部会の共催行事として、十一月十九日(日)「柘植の歴史遺産巡り/健康ウォーキング」を実施致しました。快晴に恵まれ、二十二名の方々が参加されました。当日は、野村・中柘植・上村区の併せて十カ所の『柘植の歴史遺産』



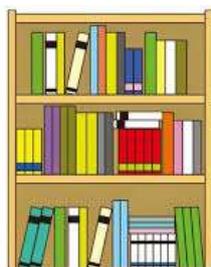
を田中先生のご説明を受けながら約3時間かけて回りました。

【ルート】横光公園 ↓ 跳ね釣瓶の庭 ↓ 太師堂 ↓ 極楽寺 ↓ 北村邸跡 ↓ 林昌寺 ↓ 勸請縄 ↓ 庚申塚 ↓ 斎宮芝 ↓ 雨龍神社跡 ↓ 保育園駐車場  
特に中柘植の「林昌寺」では静永敬雄住職より本堂の「算額」等ご案内いただきました。「地元の歴史遺産」を知る貴重な機会となったとともに「健康づくり」にも役立つと考えています。

## JR柘植駅ユーズドブックコーナー

JR柘植駅改札横に誕生した「ユーズドブックコーナー」・・・「キラッと輝け!地域応援補助金」応募結果認可されました。「柘植駅を守る会」が伊賀市から受託している柘植駅窓口業務の一環として、当「ユーズドブック(中古本)コーナー」が設置され運用開始しております。好きな本を持ち帰る代わりに代替本を同数寄贈するシステムが定着し、駅の利用客に喜ばれて居ます。此の蔵書は、いがまち公民館閉鎖に伴い館内図書室の蔵書本を整理入れ替えた際に出た一連の中古本です。

ユーズドブックコーナーの隣に併設したラックには当『柘植地域まちづくりだより』も設置されており、持ち帰る乗降客も多く三重県で最初に出来た鉄道駅『柘植駅』は今年、開業133周年を迎えます。



管理係の沖島信幸さんと松山隆治さん

【サークル・教室紹介】第13弾

日本舞踊 『柳栄会』

幹事 松尾 紀子

毎月第一・第三水曜日を中心に、柘植地区市民センターが設立された当時から利用させて戴き、活動・練習をさせて戴いております。

さてこの『柳栄会』の発足はご指導戴いておりました花柳流師匠 花柳栄美女先生が昭和五十五年、旧伊賀町の公民館活動として立ち上げられ、現代に至っております。

古典舞踊から民謡・歌謡舞踊など幅広くご指導され、会員相互の親睦を深め、和氣あいあいとした雰囲気の中でお稽古に励んでいます。

また、花柳栄美女先生が振り付けをされた「伊賀町音頭」「芭蕉音頭」「斎王群行」などは、今も踊り継がれております。

長年に渡り、ご指導を戴いております花柳栄美女先生が一昨年八月、天国に旅立たれました。

最後にご指導戴きましたのが、作曲家・古閑裕而のメロディーでした。

天国へ古閑裕而を舞たまふ

現在は、花柳栄美女先生の愛弟子である



花柳女美春 先生にご指導戴いております。(写真/左からお二方目)

発表の場としては、伊賀市文化祭・介護施設慰問などですが、コロナ禍で今は厳しい状況です。会員は高齢化と共に少なくなりましたが、日本の伝統的な舞踊を継承していきたい思いで頑張っております。

日本舞踊に興味のある方、是非とも柳栄会

にお入り戴き楽しんで踊ってくださいませ。

令和四年度第三回 『防災委員会』

十二月七日(水)午後8時から市民センターにて開催。主たる事項は1、今年度の行事予定に対する進捗状況及び来年3月迄の予定2、柘植地域合同防災訓練の振り返り(安否確認・ハザードン利用に関するアンケート結果・初動リーダー実員訓練等々)3、柘植地域自主防災マニュアル第4編(感染症対策)追録案について4、区防災委員及び初動リーダーの任期満了に伴う次期の(来年4月)人選に関して「安否確認



避難支援登録シートの更新の貸出物品の返納と引継ぎについて2年間務めて戴いた皆様への御礼等服部防災事務局長から各件説明案内が有った次第です。

# 柘植小学校 マラソン記録会



柘植小学校のマラソン記録会が1月18日(水)午前中に開催されました。

当日午前9時の外気温は3℃と少し肌寒いコンディションでしたが、生徒達はみんな頑張って精一杯走りました。柘植小学校のマラソンの趣意目的は、●進んで体を鍛え、長い距離を走ろうという気持ちを持つ。

●励まし合い、お互いの頑張りを認め合う。●皮膚を鍛え、心肺機能や持久力を高める。

この目標  
に基付き  
実施され  
参加児童  
は1年生  
から6年  
生迄の全  
校生が参  
加。学年  
に応じた  
コースを  
時間差で  
走り沿道  
ではボラ  
ンティア  
と保護者  
の皆さん  
が見守り  
ました。

## 【投稿コーナー】

### ◆◇ 年祝い(賀寿) ◆◇

#### 人の世は山坂多い旅の道

とし  
年齢の六十に迎えが来たら

還暦(六十歳)とんでもないよと追い返せ

古希(七十歳) 未だ未だ早いと突っ放せ

喜寿(七十七歳) せ おいらく 急くな老楽これからよ

傘寿(八十歳) なんの未だ未だ役に立つ

米寿(八十八歳) とし もう少し米を食べてから

卒寿(九十歳) はず 年令に卒業は無い筈よ

白寿(九十九歳) 百歳のお祝いが済む迄は

茶寿(百八歳) 未だ未だお茶が飲み足らん

皇寿(百十一歳) ゆず そろそろ譲ろうか日本一

#### 念ずれば花ひらく

【資料提供】 植木 義信さん(下町区)

## ★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

門松やおもへば一夜三十年(松尾芭蕉)

▼「新しい年を迎えて、来し方三十年を振り返ってみれば、まるで一夜の夢の様だ。」

延宝五(一六七七)年、芭蕉三十四歳の作。

江戸幕府第四代將軍徳川家綱の時代、芭蕉は此の年に、俳諧宗匠として立机(りつき)プロの俳諧師に成る事)生まれて此の方、三十数年、故郷伊賀を離れ、句で身を立てようと夢中で駆け抜けた桃青は、一人前の俳諧師として独り立ちの目途が尽いた自身を感慨を持って振り返った句と思われまます。

鶯や柳のうしろ藪の前(松尾芭蕉)

▼春を告げる「梅に鶯」ウグイスは薄暗い所を好んで低空を飛行する。然も実に落ち着きが無い。今柳の木の後ろに居たと思えばもう藪の前。鶯の行動を描写し読む人にイメージさせるもので、何もかも削ぎ落した軽やかな句。一点の濁りも無い名句です。

何はさて命大事の春寒し(尾崎紅葉)

▼寒暖の定まらない早春の候、何よりも命が大事だと、春が立ってからの寒さを実感した次第で或る。二月三日は「節分」、翌四日が「立春」立春を過ぎてからの寒さが「春寒」余寒よりも春への思い入れが強く感じられる言葉ですが、先ずは「健康第一」何はともあれ、命を大切に生きて行きたいものです。(清水)